

熊本地震により被災された皆さまに
心よりお見舞い申し上げます。
そして、一日も早い復旧・復興を
お祈り申し上げます。

センター
便り

絆
きずな

第166号

発行所

社会福祉法人
西陣会

HP: <http://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451 - 8971
FAX (075) 451 - 5700

発行者: 水上 雄一郎
編集責任: 浅田 将之

郵便振替口座
01030-5-23086

ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

ともに、福祉優先、人間が 目的のまちづくりを!!

社会福祉法人 京都市左京区社会福祉協議会
事務局長 村井喜治

昨年九月から西陣会の監事を仰せつかっています(この原稿を書いているのは、一六年六月です)。西陣会とおつきあいは、十年余り前に上京区社協の事務局長として赴任してからになります。そんな前になるのか?! と言う思いと、懐かしい思いとが交錯する中で数カ月が過ぎようとしています。いまは、左京区社協で仕事をしており、さらりンクさんには、日常的にお世話になっています。

さて、熊本で大きな地震がありました。ちょうど五年前には、東日本大震災がありました。振り返ってみると、阪神淡路大震災が二十一年前にあり大惨事となりましたが、その一方で、ボランティア元年と言われる程、多くの人々が支援に駆けつけました。また、東日本大震災と福島原発の事故は、現代人の生き方を変えさせてくれたと言っても過言ではないでしょう。西陣会が、いままも東日本の方々の支援に取り組まれ、交流を深めておられることに感銘を受けています。そして、熊本に対して。

ところで、二日前のニュースで、iPS細胞を用いて重い目の病気を治療する世界初の臨床研究をすることを、大きく取り上げていました。発表された研究グループの方々の中には、ノーベル賞を受賞された京都大学の山中伸弥教授も映し出されています。山中先生がノーベル賞を受賞されたのは、東日本大震災の翌秋でした。先生が受賞されたときの言葉を、私は今でも思い出します。即ち、iPS細胞は、製薬会社の開発競争によりその国が利益を独占するのではなく、iPS細胞の力を理解して、一人ひとりのモラルも高めること。研究体制は、熾烈な競争ではなく全員協力体制で。自分の生き方として、最後は人の役に立って死にたい、と言う内容でした。極めて高い志と高潔な人柄に、大きな感動を覚えま

西陣会のホームページが7月下旬頃にリニューアルします!



<http://nishijin.org/>

暑かった夏、多くの国民が節電しました。あの日以来、「経済優先、お金が目的の社会」から、「福祉優先、人間が目的の社会」を「ともにつくる」行動を起こし、その成熟度を、多くの人々が示し続けているのですから。西陣会が、地域住民とともに福祉優先、人間が目的の社会を創り出すために日々取り組んでおられる実践に励まされつつ、私もその一員として励みたいと、心新たにしています。

西陣会ホームとなり

今回は普段「西陣会ホームとなり」の世話人(調理や掃除、入居者さんとの相談等が主な業務内容)として従事している二名の原稿になります。「シヨートステイ(ゆづ)」利用者や職員分も含め、毎食十食前後を愛情込めて作って下さっています!

村岡 弓子

私は、娘が西陣会にお世話になっていたご縁で「となり」設立の年から、週一度夕食を作りに行かせていただいています。

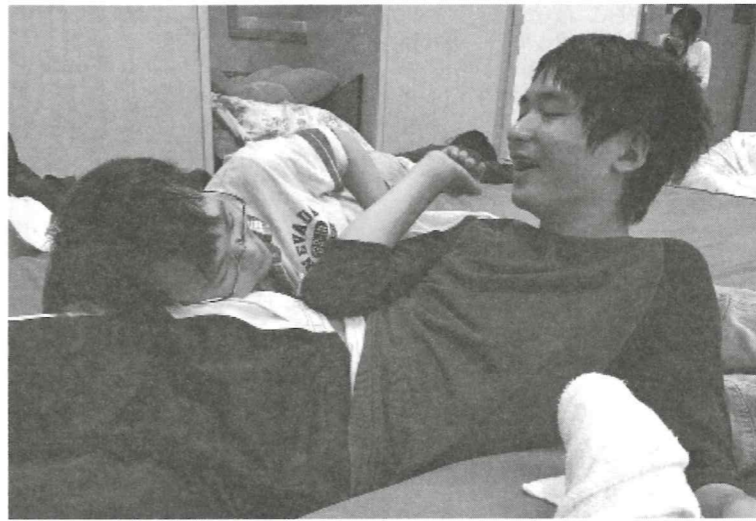
お話を聞いた時、私は西陣会の建物に入るのがつらい時期でした。娘がいない事実をはっきり認めざるを得ないからです。お断りしようとも思ったのですが、何しろ生前は、暴れた時も抜け出した時も、寄り添って支援していただいた恩恵があるもので、思い切ってお受けしました。顔見知りのメンバーさんもおられて、元気にしておられる様子やおいしそうに食事して下さることで、私自身が励まされていくうち、三年が過ぎました。

職員の皆さんが、一人一人のメンバーさんの個性に応じて、食材や食べるスタイルなどに気を配ってくださることに接することも、嬉しいことです。これからは職員の方と一緒にメン

バーさん一人一人に、居心地のいい環境を作っているらと思っています。

加藤 まさ子

私が「となり」の調理に入らせて頂くようになり、早や二年半が経とうとしています。味付けに自分自身が満足出来る日は少なく、何か一味足りないかと調味料を加えて、ああ濃くなつてしまったかな...ごめんなさい...の日の多いかもしれませぬ。それでも「ごちそうさま」とトレーを手渡してもらった瞬間がとても嬉しく思っています。家族がい



放課後のまったりタイム (タイムケア事業「ういず」)

相談支援事業所きずな

サービス等利用計画を通して

所長 寺田 文

平成二十四年四月の改正障害者自立支援法施行により、障害福祉サービス等ご利用の方を対象に「サービス等利用計画」の作成が求められるようになりました。生活全体の課題や目標を踏まえ、最も適切な福祉サービス等の組み合わせを検討・作成するもので、福祉サービスの支給決定において提出が必要とされています。

相談支援事業所きずなは、平成二十六年一月に開所しました。現在約三十名の方の計画作成やモニタリングを行っています。これまでに、定期的な計画作成以外にも、入院や転居、新しい支援提供事業所を探す等を行ってきました。

きずなは、相談員三名体制で、全員が他業務(事業)を兼ねて担っています。他の特定相談支援事業所も同様で、相談員が他業務と業務をされている所が多くあります。その中で良い部分もあれば課題もあると感じています。ご本人・ご家族と直接接する機会が多く、日常的な状況やご様子を把握しやすい事は良い部分かと感じています。ただ、新

しい事業所を見つかる等の調整時に、自身が担当している事業(法人)への調整を優先しがちになりやすい事等は注意すべきと感じています。その調整が利用者・ご家族にとつて最も適切な調整であれば良いのですが、相談員にとつての調整のしやすさのみが優先されると、ご利用者にとつて有益にならない可能性もあらうと感じています。

そうならない為にも、情報収集・把握や様々な社会資源との繋がりとついでに、大切且つ、まだまだ足りていない部分だと感じています。地域での暮らしは、福祉サービスだけを使って生活している訳では無いと思います。医療・教育・福祉等の様々な領域が整う中で、安心して暮らす事が出来るのだと思います。また、人との出会いや趣味等を通じて楽しく暮らす事が出来るのだと思います。

サービス等利用計画というツールを通して、一人ひとりが地域で安心して楽しく暮らす一助が出来ると感じています。

支援センター「きずな」

障害者差別解消法

センター長 土屋 健弘

今年四月より、障害者差別解消法が施行された。この法律は、障害者権利条約を守るため国内法の整備が求められたことより制定された法律とされている。多くの法律と同様に、法律制定により目的が達成されることはなく、法律ができることはスタートを意味する。つまり、今の社会は障害のある方への差別が存在しているのである。

では差別解消法は、どのようなものなのかという点であるが、法律では差別を「不当な差別的取り扱い」「合理的配慮を欠くこと」としている。また行政機関等には、両方を義務として禁じ、民間事業者には前者を義務として、後者を努力義務として禁じている。なお罰則規定はない。相談窓口であるが、行政が行う事務・事業の差別に関しては京都市の場合、行政の当該事業部署となっている。しかしながら直接相談しにくい状況が想定されるため、障害保健福祉推進室も窓口となっている。また民間事業者における差別の相談窓口は、京都府の条例にて設置されている広域専門相談員(京都府障害者支援課内)とさ

れている。いずれにしても、差別とは極めて個別的な事柄であることから、本人の申し出がスタートとなるとされている。

解決に向けては、実は極めて原始的な方法なのだが、話し合いを尽くしていくことが想定されている。しかしながら解決に至らない際には、最終的には市町村が設置する協議会などを活用することが示されており、協議会が機能することが期待されている。イメージとしては、民事の争い事に関する「調停」に似ている仕組みと言える。この法律施行後に、国会で参考人を予定していた障害のある方が、体面での配慮からという表向き理由で参考人が変更される事案が生じた。この事案の重要な点は、本人は出席するつもりであった点にある。国会議員側は「配慮」との言葉を用いたが、実際には本人はそのような配慮を求めておらず、結果としては差別と考えられた。差別とは極めて個別的なものであるとの言葉には、本人を大切にしようというメッセージが含まれているというところを肝に銘じ、取り組む必要を改めて感じた。

支援センター「くまもと」

熊本地震に思うこと

センター長 宇川 征宏

平成二十八年四月十四日二十一時二十六分、四月十六日未明、熊本県と大分県に震度七を観測する地震が相次いで発生した。甚大な被害を受けた地域の支援活動に入るため、五月二十四日(三十一日)、京都府D.W.A.T.(京都府災害派遣福祉チーム)の一員として、熊本県益城町の総合運動公園内にある避難所の運営補助等に参加した。この公園には五つの生活空間(総合体育館、ミナテラス、緑テント、白テント、車中泊)

があり、約二千人の方が避難生活を強いられれていた。私達が活動することになったミナテラスは、元々、情報交流館(図書館等)であったので、いくつかの部屋があり、報道で流れているような大広間に全員が雑魚寝をしているという状況ではなかったが、生活している約百五十人に十分なスペースが与えられている訳ではなく、入り口付近や廊下にも毛布一枚敷いて寝ている人も多く居た。一ヶ月を越す避難生活のために、心身共に疲労を抱えている方が目についた。一週間にチームが代わ

る私達の活動は、関係作りから始まる。単に挨拶をするのではなく、靴を整え、ゴミを拾い、トイレ掃除等、避難者が少しでも生活し易いように、環境を整え、何気ない会話をし、距離を近づけていく。そこから生じる関係の中から当日のことや今の想い等を聞く。既に、同じ質問を何十人にも何百回もされて

いるので、不快にならないように、細心の注意を払って行う。ただ実際に、話を聞くだけに体的な希望を聞いても解決に繋がられないことだらけだった。また、関わりすぎることが、今後の生活の弊害になることも意識をした。避難者は、



熊本県益城町 総合体育館と野外テント

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

「子どもが授けてくれた幸せ」

子育てサークル「あつぷぷ」スタッフ 熊倉 真衣

二月に第三子を出産し、三人の男の子の母となった私は、かつて、結婚を機に退職して京都へとやって来ました。新生活に上々気分...

が〇歳の時から参加している、この児童館を拠点にした育児サークル「あつぷぷ」との出会いは、私にとっても大きなものでした。育児中の母親が主体のこのサークルは、主催者も参加者の形をとり、子どもと一緒に楽しめること、親子がリフレッシュできることを考えて活動されて...



みんなでハロウィーン大行進♪ (西陣児童館)

間とともに子どもの成長を見守りながらも、どのようにして親が子どもと一緒に楽しめるか、孤立せずに過ごせるか、有益な情報を共有できるかを考え、試行錯誤を重ねながら企画、運営しています。

京都市障害のある中高生のタイムケア事業「ういす」

所長 宮崎 一弥

タイムケア事業もいよいよ来年度で十周年を迎えます。二〇〇七年六月に始まったタイムケア事業は、保護者の就労支援と、地域生活支援、健全育成等を目的として始まりました。

開所当時の障がいのある中高生の放課後支援は、まだまだ発展途上でした。使えるサービスも限られている状況の中で、このタイムケア事業というものは、先駆的な働きで注目されていきました。

そして、十年近くの歳月が過ぎ、現在の障がいのある中高生を取り巻く放課後の過ごし方には、多様な在りかたがあります。使えるサービスが増えることは、利用者にとっては、それだけ選択の余地が増えるということであり、放課後の生活スタイルに幅がでてきました。

市内四か所のタイムケア事業において、連絡会が去年より立ち上がっています。そこでの議論に、私たちの今後の在り方とは？ ということについて、話し合っています。小学校の空き教室を利用しての地域に根付いた支援、利用希望があればどのようなケースであっても受け入れていく、京都市の委託事業として根本にあるその思い。

そして、その時代に応じた、より利用しやすいタイムケア事業を目指し、現状に甘んじることなく、前向きな変化を加えていくこと。そのようなことを連絡会では話し合い、今後の在り方を模索しています。

そして何より私たちは、西陣会のタイムケア事業です。法人の理念に基づいた働きを忘れずに、支援を必要としている目の前の「その人」こそ大切にします。そして、今できることを考え、タイムケア事業を通して、理念の具現化を目指していきます。

活動日誌

【本部業務・公益事業】

- 4月 3日 桜まつり 6日 事業所見学説明会 (西陣朝市マルシェ) 10日 震災支援物品販売 (めが! 千本100円商店街) 23日 震災支援物品販売 (めが! 千本100円商店街) 25日 産業医面談相談会 28日 二次選考会 桜まつり反省会

5月

- 9日 法人会計外部監査 総務委員会 月曜集会 事業所見学説明会 一次選考 (新任職員研修) (講師:水上理事長) 2015年度相談係まとめの座談会 施設長研修 法人監事監査 人材育成検討委員会 事業所見学説明会 一次選考 (講師:東社労士) 役員等研修会および指

6月

- 1日 新任職員研修 (講師:浅田常務理事) 21日 西陣会交流歓迎会 22日 理事会・評議員会 23日 月曜集会 25日 新任職員研修 (講師:武田理事) 30日 産業医面談相談会

4月

- 2日 地域の子育て支援の場への職員派遣 (今年度も定期的に実施) 8日 学童クラブ入部式 11日 地域の高齢者施設との交流活動 (今年度も定期的に実施) 15日 ぴこぴこクラブ発会式 19日 ぼこ・あ・ぼこ発会式 20日 パレードトドスター

5月

- 7日 第一ブロック児童館学童保育所まつり 24日 佛教大学ボランティア募集ブリス出展 (鬼塚・松井) 28日 出前児童館

6月

- 2日 京都産業大学ボランティア募集ブリス出展 (藤賀・野崎) 7日 立命館大学ボランティア募集ブリス出展 (高部・松井) 17日 同志社女子高花の日の訪問 17日 ドリームチルドレン 上京広場

【居宅サービス係】

- 25日 上京区障がい児者支援ネットワーク (以下上京ねっと) 運営委員会 (永瀬・高田) GH意見交換会 25日 GH意見交換会

5月

- 1日・14日・29日 集団活動企画「BBQ」 16日 京都市居宅介護等事業連絡協議会総会 GH意見交換会 23日 GH意見交換会

6月

- 4日・5日 日本グループホーム学会沖繩大会 (浅田・宮崎・赤尾・森) 10日 上京ねっと総会 25日 ヘルパー研修会 27日 GH意見交換会

【デイセンターふらっと】

- 20日 見学者1名 22日 西陣会ふらっと役員会 ヴィジョン委員会 26日 見学者2名 27日 京都府チャレンジ事業研修 (上杉)

5月

- 17日 生活介護等連絡協議会 (本林・五十嵐) 19日 見学者3名 (本林・五十嵐) 20日 共有会議 20日 西陣会ふらっとヴィジョン総会 25日 京都市集団指導 30日 避難訓練

6月

- 6日 共有会議 23日 利用者ポータル支給式

【きらリンク】

- 8日 北部自立支援協議会運営会議 13日 高齢者障害者研究会 15日 左京区地域ケア連絡協議会防災部会 18日 市社協日常生活自立支援事業審査会 25日 北部自立支援協議会 28日 児童部会研修会 28日 障害支援区分審査会

5月

- 9日 左京区介護事業者連絡会 16日 京都市居宅介護事業連絡協議会 19日 基幹支援センター キルアップ研修

【自立支援協議会】

- 1日 京都市自立支援協議会 10日 北部自立支援協議会 全体会議 13日 左京区介護事業者連絡会 22日 基幹支援センター キルアップ研修 30日 平成28年度京都府虐待防止・権利擁護研修

4月

- 14日 基幹支援センター会議 15日 中京区権利擁護ネットワーク 21日 相談支援専門員カフェ

5月

- 12日 基幹支援センター会議 19日・31日 熊本派遣 ネットワーク総会

6月

- 1日 自立支援協議会総会 8日 医療的ケア部会 10日 上京ねっと総会 16日 相談支援専門員カフェ 22日 相談支援専門員スキルアップ研修 22日~7月2日 福島派遣

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

地域における公益的な取り組み

上京消防団嘉楽分団

京都市民福祉センター 館長 浅田 将之

京都市民福祉センターは京都市上京区の嘉楽学区にあります。

地元学区の消防団の方からお誘いを受けて、昨年度より職員が入団させていた...

この日を迎えるまでは、仕事の後に嘉楽中学校のグラウンドに集まり、優しく、厳しく、先輩方や消防署員の方にご指導いただきながら、交流を深めながら慣れない訓練をしてまいりました。

また一年間の巡回活動や稼働状況等の実績等も総合

して評価された結果、嘉楽分団は実質四位という結果になったそうです。

地域住民の方々と一緒に汗を流し、必要とされる働きをして、お役に立てることで、仲間に入れていただけただけの実感をもっており、感謝しております。

西陣児童館、デイセンターふらっと、西陣会居宅サービス係、西陣会ホームとなり、シヨートステイゆう等を利用されている方たちだけではない、西陣会がこの地域にあることを地域住民の方々に喜んでいただける社会福祉法人でありたいと願っております。

地域のニーズを受け止めながらできることから対応し、誰もが安心して、安全に暮らせる地域社会を住民の皆様と創っていききたいと思っております。

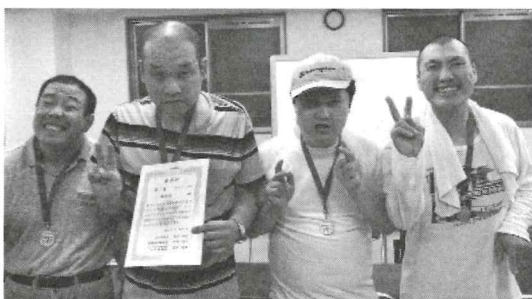
京都市民福祉センターとして行なう活動には皆様からいただいた寄付金の一部を充当させていただきます。

グループプラン 第一位

鬼塚 義正

去る五月二十二日に京都市Y M C A主催のイベント第十二回インターナショナルチャリティランに個別にお誘いした人たちと参加してきました。

例年、めいぶるワイズメンズクラブの皆様のご厚意で参加させていただいています。グループで走るグループランに出走し、運よく規定タイムに近く、今年なんと一位を獲得！賞状にメダルもいただくことができました。走った皆様お疲れ様でした。



後日送られてきたメダルと賞状ゲットしました！

センター往来

5月22日(日)理事会・評議員会(2015年度決算報告などについて)を開催しました。

同日理事会にて、嘉楽学区社会福祉協議会会長の交代に伴い、西陣会評議員の中西英輔様が退任され喜多泰弘様が就任されることが承認されました。

被災地支援物品販売の報告

西陣マルシェ 4/10 4/23 4/23 千本100円商店街

京都府災害派遣福祉チームとして職員2名を熊本県益城町に派遣。 第2班「5/19~25」 藤原 暢子

第3班「5/24~31」 宇川 征宏(班長として)

職員人事(常勤職員)

退職

法人本部 守岡美知子 (16年5月6日付)

社会福祉法人 西陣会

- 法人本部 京都市民福祉センター 地域活動支援センター 地域生活支援事業 レスバイトサービス 西陣児童館 京都市障害のある中高生のタイムケア事業 西陣会居宅サービス係 デイセンターふらっと 京都市中部障害者地域生活支援センターにしん 西陣産業会館1F 京都市北部障害者地域生活支援センターきらりリンク 京都市左京区浄土寺上馬場町一丁目 京都市上京区西堀川通元誓願寺上ル堅門前町四一四 西陣産業会館1F 京都市上京区元誓願寺通り千本東入る元四丁目四三〇番地の三 京都市上京区元誓願寺通り千本東入る元四丁目四二四番地一

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075)451-5700 迄ご連絡下さい。